

地域での取り組みの「不発」談

不発の取り組みから考えたこと

@北九州市地域福祉計画策定懇話会

特定非営利活動法人KID's work

大久保大助

自己紹介

■大久保大助 北九州市在住 1974年生（51才）

■好きなこと
DIY（木工が特に好き）

■北九州市立大学
文学部人間関係学科
2002年～2007年（人類学）

社会システム研究科
地域コミュニティ専攻
2023年～2025年（社会教育）

■仕事 NP0法人の運営など



特定非営利活動法人KID's work

小学生を対象とした野外活動/生活体験活動

子どもの活動を通したリーダー育成事業

「あそびがしごと
しごとがあそび」

➡子どもの仕事＝あそび
大人の仕事＝子どものあそび

➡生活体験（暮らしの体験）
（昔の暮らし/野外での暮らし/非常時の暮らし…）
（通学合宿 / キャンプ / 防災）

➡「考える」「決める」「行動する」力

特定非営利活動法人KID's work

小学生を対象とした野外活動/生活体験活動
子どもの活動を通したリーダー育成事業



きっずわーく防災キャンプ
夏休み@みかんの家
3泊4日（8月）



あるきゃん
市内50キロをキャンプしながら歩く
2泊3日（10月）

特定非営利活動法人KID's work

小学生を対象とした野外活動/生活体験活動
子どもの活動を通したリーダー育成事業



にわとりキャンプ
@玄海青年の家
全5回（11月～2月）



研修会（石焼き場づくり）
@みかんの家
2泊3日（5月）

体験活動をコーディネートする…（市民センター×NP0）

北九州市「未来の種」事業（2021～2023年度）

地域づくりの未来の担い手である**子どもたちの健全な発達・育成**に向けて、**市民センター(公民館)が中心**となって、子育て支援団体などの**コーディネート**のもと地域団体（まちづくり協議会等）と**協働し世代間交流・体験活動を実施**するもの。
（2021年度～2023年度まで実施）



2021年度

- 「防災屋台村」長尾市民センター
- 「ばるっこフェスタ出展」中原市民センター
- 「お地蔵さんのなぞを解け！」清見市民センター

2022年度

- ☐ 「きよみマーケット」 清見市民センター
- ☐ 「若戸大橋をつくる」 若松中央市民センター
- ☐ 「地域を取材」 高須市民センター
- ☐ 「風とあそぶ」 沢見市民センター

2023年度

- 「高槻咖哩物語」 高槻市民センター

体験活動をコーディネートする…（地域〈まちづくり協議会〉×NP0）

にれの木坂交通安全ワークショップ（2023年度）

にれの木坂団地（北九州市小倉南区）内の交通安全について実地調査を行い学び考え、その成果を道路標示として町内の必要なところに設置する。



- 1回目:オリエンテーション/交通安全について
- 2日目:現地調査をする
- 3回目:にれの木坂団地のあぶないところMAP作り
- 4回目:道路標示のデザインを考える
- 5回目:道路標示を書いてみる

関係団体

にれの木坂団地町内会 / 吉田市民センター
小倉南区役所コミュニティ支援課 / 小倉東高校
小倉南区まちづくり整備課 / 小倉南区警察署



コーディネーターとしては、ワークショップ全体の構想を考え、それをまとめ関係団体のみなさんに共有することからはじまりました。

また、各回の事業後に町内会長さんや市民センター館長さんと打ち合わせを繰り返し、事業の進め方の調整を行いました。

協働事業…（行政〈北九州市こども若者成育課〉×団体連携）

公園型プレーパークを通じた子どもの居場所づくり （2022年度～継続中）

地域における「プレーパークの普及」を目的に、地域の公園においてモデル的にプレーパークを実施。地域でのプレーパークへの理解促進と担い手の掘り起こしをおこなう。プレーパークとは子どもが自分の責任で自由に遊ぶことを保障する取り組み。



市民活動団体3団体で、プレーパークの普及を担う中間支援団体「あそびたいネット」を設立し、行政と協働し活動を継続している。

子どもからのコメント

友だちに聞かれて
(お父さんの)やっていること
3つ言ったらもうわからん顔される
5つ聞いてくれたらかなりいい

お父さんの仕事
説明しにくい



■地域といっしょに何かをする…不発 談①

□地域からの声（A地区の場合）

こどもウエルクラブの活性化について

子どもの活動として年末のもちつき

→年配の方へのお餅配りが好評

×

A地区（都市部）の子どもたちは自然環境での体験活動が少ない

□提案

田植え→稲刈り→もちつきを軸とした都市部と農村部の交流事業を提案

➡地域の同意が得られなかったため不発

■地域といっしょに何かをする…不発 談②

□地域からの声（B地区の場合）

こどもウエルクラブの活動について

毎年の公園の清掃活動において、集めた葉っぱで焼きいもがしたい

×

行政と共に実施している公園でのプレーパークでは、火を使うことも許可されている事例

□提案

清掃活動をしている公園でも活動のあと、安全な形で焼きいもすることができないか？事例を紹介して打診。まち協会長も前向き。

➡まちづくり整備課に打診するも却下

■地域といっしょに何かをする…考えたこと①

□事業を真ん中において事業で人をつなぐ

➡新しいことをしなければ、新しいつながりは生まれにくい

➡既存の事業に新しい要素を(少し)加えていく

↳ 困りごと/課題解決

につながるイメージ

↳ 地域にあるものを活かす

リソースは有限＝ないもののねだりをしない
組み合わせをかえる/見方をかえる

↳ 課題もリソースになる

⇔ 阻害要因

新しいものに対する抵抗感 価値観の違い
実施に対する負担感 承認の欠如…など

期待：不安＝51：49

■地域といっしょに何かをする…考えたこと②

①聞き出すこと

- ・ 地域の状況（困っていること/課題と思っていること）
- ・ 地域のこと（リソース/課題/歴史/特徴など）

②聞き出すプロセスで見ていること

- ・ 関係者の人となり/関係者同士の関係性
- ・ 関係者の意欲（なにかやってみたいと思っているか？）/経験/雰囲気等

③事業を考えるときに気をつけていること

- ・ 地域の特色を活かす
- ・ プログラム構成⇒テーマ設定 目的>すること
- ・ 会議⇒できるだけ意見を言ってもらおう（＝言葉を拾う）

④コーディネーターとしての関わり方

- ・ 地域の良さを探す、知ろうとする姿勢
- ・ 関係者とよい関係をつくる 受入れてもらう姿勢⇒自分は「よそ者」

⑤運営の際、気をつけているところ

- ・ できるだけ、地域の人にやってもらう
⇒負担に感じているところを見いだす⇒負担が減るよう調整する

⑥心構え

- ・ どうせやるならおもしろく⇒気持ちを乗せる



ご静聴、ありがとうございました。

特定非営利活動法人 **KID's WORK** きっずわーく
代表理事 大久保大助

北九州市小倉南区横代南町1-6-15

☎093-982-8153

✉daisuke.kidswork@gmail.com

URL <https://www.kidswork.jp>



KID's work CHANNEL

